

令和 6 年度
宮 崎 県 立 延 岡 病 院
年 報

宮崎県立延岡病院

ま え が き

当院の年報をご覧くださいありがとうございます。

昨年度は令和6年12月に病院機能評価受審し5回目の認定をいただきました。また本年2月に電子カルテ更新を無事終えることができました。スタッフの協力に感謝しているところです。

当院は、宮崎県北地区（延岡西臼杵医療圏、日向入郷医療圏）の中核病院として地域医療に貢献を続けてきました。その使命は、県北地域における高度医療や救急医療、ハイリスク小児・周産期医療を提供し地域完結型医療を行うことにあります。また地域医療支援病院として県北医療機関との連携、支援を行うことも重要です。施設面では、高度化する医療の提供を確実に行うため、令和5年度にはハイブリッド手術室を備えた心臓脳血管センター、外来化学療法室の整備、令和6年度にはMR I（3テスラ）の導入を行いました。今年度はさらにハイケアユニットや高度急性期病床の増床、手術支援ロボットや抗がん薬混合調整ロボットの導入も行います。

当院は県立病院として多くの不採算医療を抱えており、県の一般会計からの繰り入れがなされています。昨今、人件費上昇や医薬品、診療材料費の高騰などにより多くの自治体病院の経営が悪化している状況下では、当院も例外ではなく経営改善が急務です。これまでもDPC係数上昇のため救急医療体制の充実、地域医療機関との連携強化、在院日数の短縮、効率的な医療の提供などの成果をあげるなど増収対策を行い、また医療機器や診療材料のコスト削減に努めてきました。さらに昨年度からは原価計算を開始し、病院全体並びに診療科、病棟、疾患ごとの原価を把握することで経営改善に向けての方向性を示しているところです。

この宮崎県立延岡病院年報に最新の病院概要、昨年度の医療実績及び研究業績を掲載しています。ぜひご一読ください。

令和7年7月

第10代院長 山口 哲朗

【歴代院長】

初代	橋本 亨	昭和23年 9月	—	昭和24年11月
2代	船渡 護	昭和24年12月	—	昭和60年 3月
3代	永田 高見	昭和60年 4月	—	平成 9年 3月
4代	本田 正之	平成 9年 4月	—	平成15年 3月
5代	小川 道雄	平成15年 4月	—	平成17年 3月
6代	中原 莊	平成17年 4月	—	平成19年 6月
7代	楠元 志都生	平成19年 7月	—	平成26年 3月
8代	柳邊 安秀	平成26年 4月	—	平成31年 3月
9代	寺尾 公成	平成31年 4月	—	令和 6年 3月
10代	山口 哲朗	令和 6年 4月	—	現在

理 念

患者さん本位の良質で安全な医療の提供

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、理解と納得に基づく安全で信頼される医療を行い、患者さんの立場に立った医療の提供に努めます。
2. 高度で先進的な医療に取り組み、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めます。
3. 二次・三次救急医療に取り組み、公立病院として地域住民が安心できる医療の確保に努めます。
4. 地域の医療機関との連携と地域社会に密着した保健医療活動を進め、開かれた病院として地域の保健・医療の向上に努めます。
5. 医療従事者として常に知識・技術を高め、質の高い医療の提供に努めます。

宮崎県立延岡病院

患者憲章

県立延岡病院は、病院の理念に則り、医療の中心は患者さんのためにあることを深く認識し、一人一人の患者さんに次のような権利と責務があることを宣言します。

1. 良質な医療を平等に受ける権利
社会的地位、人種、信条等を問わず、安全に配慮した良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 知る権利
病気、検査、治療、予後等について、理解しやすい言葉などで納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。
3. 自己決定権
医療を受ける際、十分な説明を受けた上で受けるかどうかを自分で決定する権利があります。
4. 尊厳性への権利
どのような時でも人格を尊重され、尊厳をもって医療を受けることができます。
5. プライバシー保護の権利
病院関係者が知り得た全ての個人情報について、保護を受ける権利があります。
6. 責務
 - (1) 以上の権利を守るため、医師及び医療従事者と力を合わせて医療に参加・協力する責任があります。
 - (2) 院内の秩序と快適な療養環境を守るため、院内の諸規則を遵守する責任があります。

目 次

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況	1
2. 主な沿革	2
3. 現況	2
4. 病院組織機構図	3
5. 委員会等組織機構図	4
6. 職員数調	5

第2章 医療実績

1. 入院・外来患者数	6
2. 救急患者受入状況	7
3. ドクターカー運行状況	8
4. 手術件数	9
5. 周産期件数	10
6. 透析件数	10
7. 剖検件数・臨床検査件数	10
8. 放射線件数	11
9. 薬剤関係件数	12
10. リハビリテーション件数	13
11. 臨床工学関連件数	14
12. 給食年報	15
13. 患者支援センター関連件数	15

第3章 研究業績

1. 内科	16
2. 循環器内科	19
3. 小児科	25
4. 外科	26
5. 整形外科	28
6. 呼吸器外科	30
7. 心臓血管外科	31
8. 泌尿器科	32
9. 産婦人科・周産期科	33
10. リハビリテーション科	35
11. 放射線科	36
12. 歯科口腔外科	37
13. 麻酔科	38
14. 臨床検査科	39
15. 栄養管理科	40
16. 臨床工学科	41
17. 救命救急科	42
18. 総合診療科	48
19. 薬剤部	50
20. 看護部	51
21. 県立延岡病院学会	55
22. 県民健康講座	58
23. チーム医療セミナー	59

第1章 病院概要

1. 病院事業の執行状況

事業執行状況

当院は、県北地域における高度医療や救急医療を提供する中核病院として、また、地域完結型医療の提供を目指す地域医療支援病院として、さらには地域災害拠点病院として、その役割を果たすことが求められており、病院運営の基本理念の実現に向け、質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実を図るとともに、住民が安心できる医療提供体制の整備等、地域の医療機関との連携強化等に努めているところである。また、令和6年2月にへき地医療拠点病院の指定を受け、へき地診療所等への代診医派遣やへき地医療に携わる医師を対象にした研修などを実施し、県北地域における持続可能な地域医療提供体制の確保に努めている。

経営面においては、より高い収益を確保するため、重症患者を中心に受け入れる急性期病院に認められる急性期一般入院料1や特定集中治療室管理料5等の施設基準を維持するとともに、診断群分類別包括評価制度（DPC制度）を導入した病院に与えられる医療機関別係数の上昇に取り組むほか、DPCデータ分析による効率的診療の追求や請求内容の改善等を図っている。一方、事業費については、後発医薬品（ジェネリック）の採用促進や診療材料の共同購入品や診療材料に係るSPD方式の活用など、積極的な経費節減に取り組んでいる。

こうした中、令和6年度の病院事業収益について、入院収益は、平均在院日数が増加したことから、患者一人当たりの診療単価が前年度比で4,672円の減となったが、延入院患者数は増加し、入院収益総額は9,021,498千円となり、前年度に比べ465,142千円の増加となった。

外来収益は、外来化学療法の注射薬剤料等の増加により、注射料が191,430千円の増となったこと等から、外来収益総額では2,948,972千円となり、前年度に比べ297,730千円の増加となった。

病院事業費用は、給与改定等に伴い給与費が429,670千円の増、薬品費等の材料費が465,184千円の増、経費が委託費や賃借料の増等により76,118千円の増となるなど、総額では14,522,398千円となり、前年度に比べ1,008,156千円の増加となった。

この結果、令和6年度の損失は14,990千円となったが、前年度の収支（損益）と比較すると303,851千円損失が減少した。

ア. 患者の利用状況

患者数は、延入院患者数105,102人（1日平均288人）、延外来患者数107,605人（1日平均443人）で、前年度に比べ、入院については10,565人（1日平均30人）の増、外来については6,308人（1日平均26人）の増となった。

イ. 収支の状況

収支（損益）は、総収益14,507,408,668円、総費用14,522,398,509円となり、差引14,989,841円の損失を計上した。

ウ. 施設の整備状況

施設の整備については、病院内のLED化を進めた。医療器械では、MRI（磁気共鳴画像診断装置）の更新を行った。これまでの器械は購入後14年が経過しており、ハードウェアの劣化やソフトウェアのバージョンが古いなど、現在の医療技術に対応した検査を十分に行えていなかった。更新したことで検査時間の短縮による患者負担軽減や、より精密な浸潤度合の把握ができ、がん治療・手術に貢献できる。

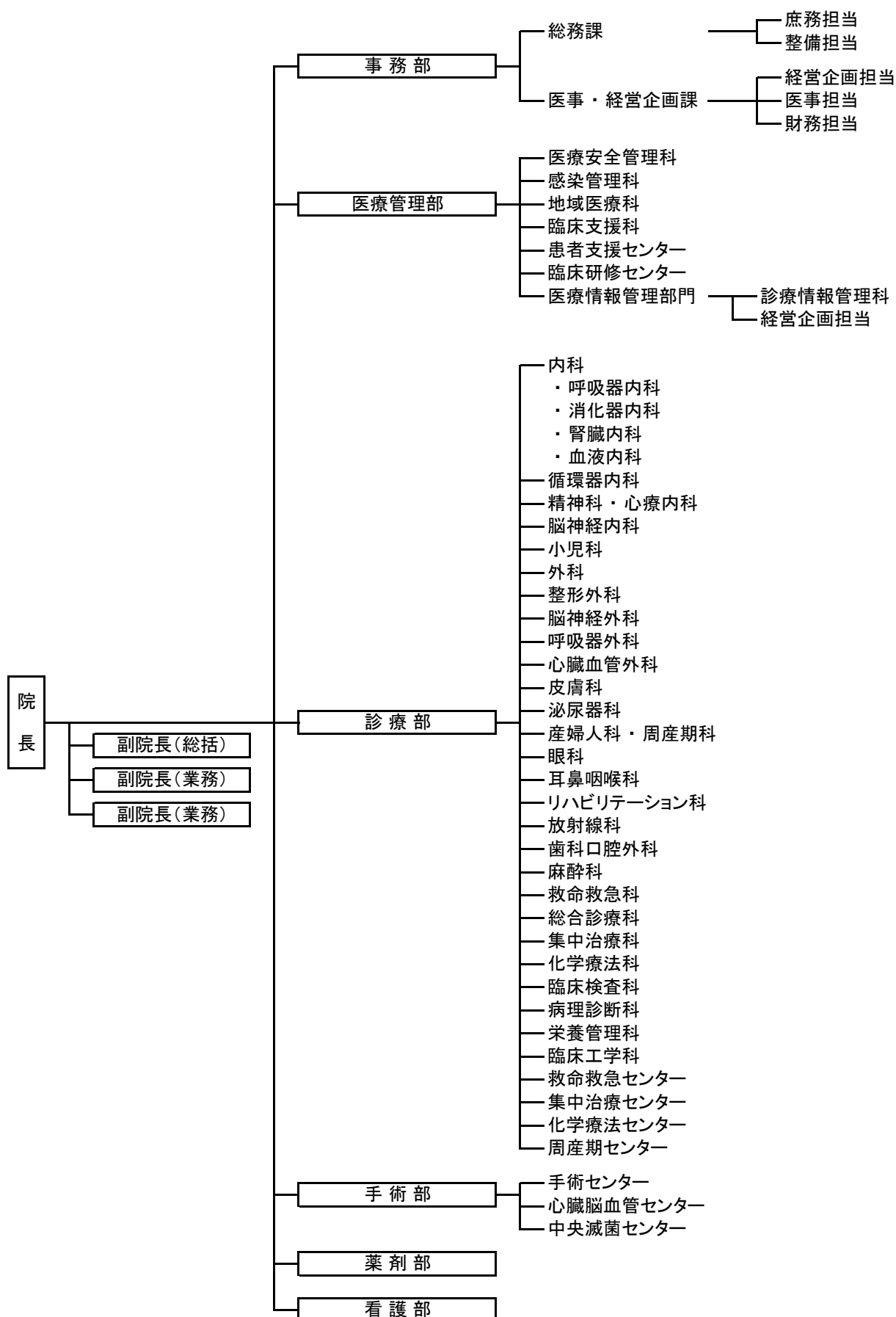
2. 主な沿革

昭和23年9月	延岡市浄満町にあった日本医療団延岡病院を買収して開院
昭和24年12月	済生会延岡病院及び旧延岡保健所の両施設を利用して現在地に移転、診療科2科（内科、外科）病床数42床（一般）
昭和25年2月	産婦人科を増設
5月	耳鼻咽喉科、眼科を増設
昭和31年6月	小児科、整形外科、皮膚泌尿器科、歯科を増設
昭和44年4月	脳神経外科を増設
昭和54年3月	許可病床数を460床（一般420床、伝染40床）に変更
平成9年11月	心臓血管外科、精神科を増設
平成10年4月	リハビリテーション科を増設 救命救急センターに指定された
平成10年7月	全面改築工事竣工
平成11年4月	心療内科を増設 感染症新法施行に伴い伝染病床40床を廃止し、病床数を460床（一般456床、感染4床）に変更
平成12年3月	全ての診療科で院外処方せんの発行を開始
平成14年5月	循環器科を増設
4月	救命救急科を設置
平成18年5月	電子カルテシステムが稼働
11月	地域医療支援病院の承認を受けた
平成20年4月	DPC対象病院となり、DPC請求を開始 地域周産期母子医療センターに認定された
平成22年4月	臨床工学科及び病理診断科を設置
平成24年3月	病児等保育施設が完成（4月保育開始）
平成25年2月	新電子カルテシステムが稼働
3月	屋上ヘリポートを備えた救命救急センターが竣工
平成27年4月	入院支援センター及び感染管理科を設置
平成28年7月	診療科23科（呼吸器外科新設）となる
平成31年3月	心臓カテーテル室2室、ハイブリッド手術室1室（未整備）を備えた心臓脳血管センターが竣工 許可病床数を410床（一般406床、感染4床）に変更
令和2年4月	患者支援センター（医療連携、入退院支援、相談）を設置
令和3年4月	集中治療センター・集中治療科を設置 医療管理部に診療情報管理科及び臨床支援科を設置 ドクターカー（病院の高規格救急車）の運行開始
令和5年2月	リハビリテーションセンターの移設
令和5年4月	医療管理部に地域医療科を設置 臨床研修センターを設置
令和5年10月	化学療法科、化学療法センターを設置
令和6年2月	心臓脳血管センターハイブリッド手術室を設置 へき地医療拠点病院に指定
令和6年10月	眼科 外来診療を再開

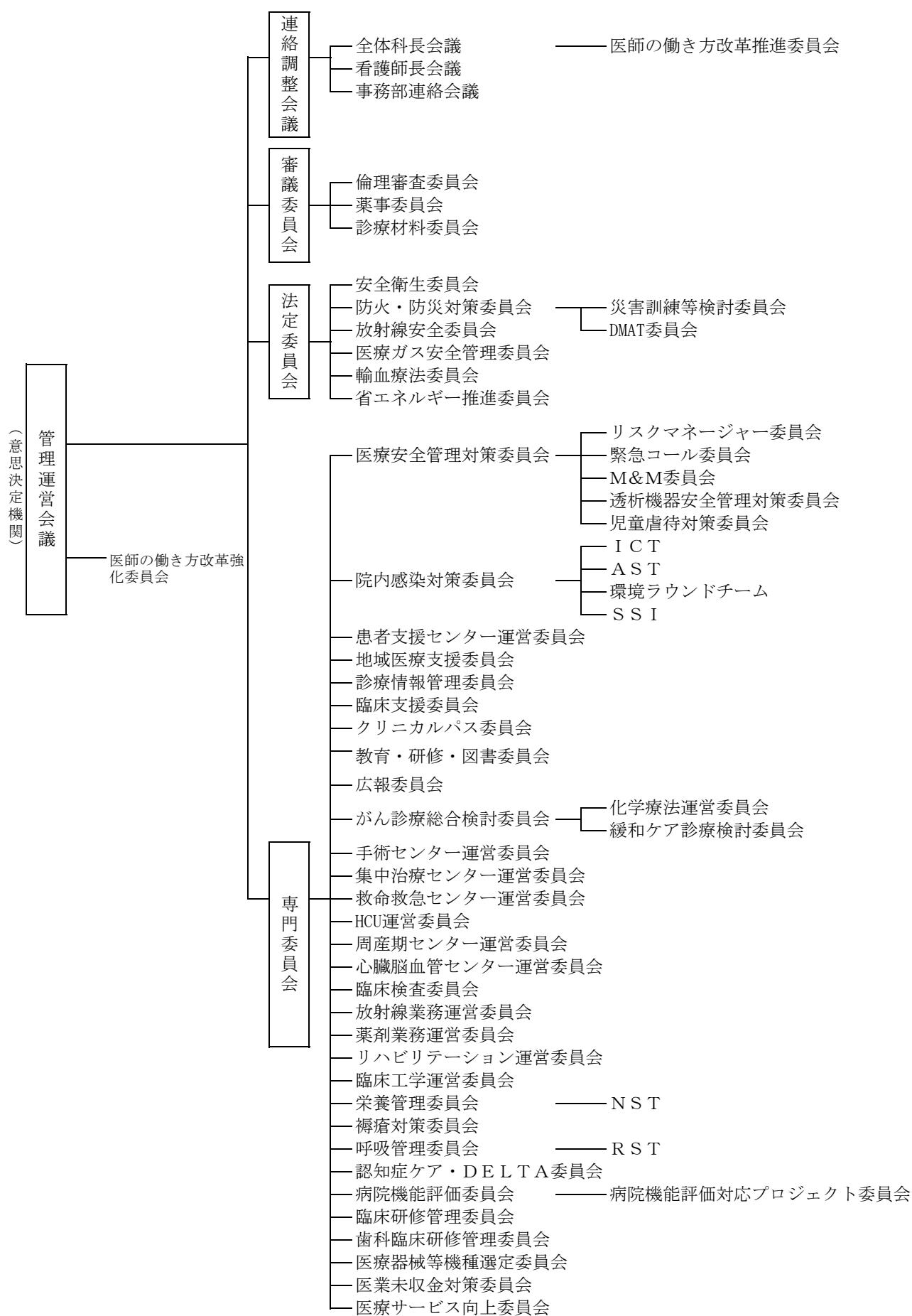
3. 現 況 （令和7年4月1日現在）

所在地	〒882-0835 宮崎県延岡市新小路2-1-10
開設年月日	昭和23年9月1日
病床数	一般406床 感染4床 合計410床
施設の規模	土地 …31,245.07 m ² 建物 …35,234.81 m ² 駐車場 … 外来用：348台 職員用：339台
標榜診療科	内科、心療内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救命救急科、臨床検査科、病理診断科（計23診療科 心療内科、精神科、脳神経内科は休診中）
診療報酬	急性期一般入院基本料1 総合入院体制加算3 特定集中治療室管理料5（ICU） 新生児特定集中治療室管理料2（NICU） 医師事務作業補助体制加算2（15対1） 地域医療体制確保加算 等

4. 病院組織機構図 (令和7年7月1日現在)



5. 委員会等組織機構図 (令和7年7月1日現在)



6. 職員数調

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減 数 (R7・R5比較)
医 師	73	64	66	9
歯 科 医 師	3	3	3	0
薬 剤 師	18	18	19	0
診 療 放 射 線 技 師	17	17	17	0
臨 床 検 査 技 師	20	21	21	▲ 1
管 理 栄 養 士	6	6	6	0
臨 床 工 学 技 士	13	13	13	0
理 学 療 法 士	10	10	10	0
作 業 療 法 士	5	5	5	0
言 語 聴 覚 士	3	3	3	0
看 護 師	404	397	391	7
精 神 保 健 福 祉 士	1	1	1	0
事 務 員	11	11	11	0
合 計	584	569	566	15
会 計 年 度 任 用 職 員	230	215	222	15
臨 床 研 修 医	27	28	25	▲ 1

※ 各年度 5 月 1 日時点（臨床研修医は年間の実人数）

第2章 医 療 実 績

1. 入院・外来患者数

(単位：人)

区 分		入 院				外 来			
		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較		令和6年度 (a)	令和5年度 (b)	対前年度比較	
		365日	366日	増減数 (A－B)	増減率 (A／B)	243日	243日	増減数 (a－b)	増減率 (a／b)
内科	延数	28,837	26,278	2,559	109.7%	21,590	19,905	1,685	108.5%
	1日平均	79.0	71.8	7.2	110.0%	88.8	81.9	6.9	108.5%
心療内科 ・精神科	延数	0	0	0	－	64	74	－10	86.5%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	－	0.3	0.3	0.0	86.5%
脳神経 内科	延数	0	0	0	－	0	0	0	－
	1日平均	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	－
循環器 内科	延数	11,424	10,194	1,230	112.1%	12,058	10,505	1,553	114.8%
	1日平均	31.3	27.9	3.4	112.4%	49.6	43.2	6.4	114.8%
小児科	延数	1,899	1,680	219	113.0%	4,952	5,143	－191	96.3%
	1日平均	5.2	4.6	0.6	113.3%	20.4	21.2	－0.8	96.3%
外科	延数	12,038	8,408	3,630	143.2%	10,512	10,031	481	104.8%
	1日平均	33.0	23.0	10.0	143.6%	43.3	41.3	2.0	104.8%
呼吸器 外科	延数	3,835	2,616	1,219	146.6%	3,883	3,419	464	113.6%
	1日平均	10.5	7.1	3.4	147.0%	16.0	14.1	1.9	113.6%
整形外科	延数	14,745	15,865	－1,120	92.9%	8,067	8,142	－75	99.1%
	1日平均	40.4	43.3	－2.9	93.2%	33.2	33.5	－0.3	99.1%
脳神経 外科	延数	6,122	7,025	－903	87.1%	3,372	3,445	－73	97.9%
	1日平均	16.8	19.2	－2.4	87.4%	13.9	14.2	－0.3	97.9%
心臓血管 外科	延数	1,933	2,279	－346	84.8%	1,636	1,609	27	101.7%
	1日平均	5.3	6.2	－0.9	85.1%	6.7	6.6	0.1	101.7%
皮膚科	延数	1,542	1,155	387	133.5%	7,401	6,140	1,261	120.5%
	1日平均	4.2	3.2	1.1	133.9%	30.5	25.3	5.2	120.5%
泌尿器科	延数	2,408	2,501	－93	96.3%	6,307	6,364	－57	99.1%
	1日平均	6.6	6.8	－0.2	96.5%	26.0	26.2	－0.2	99.1%
産婦人科 ・周産期科	延数	9,734	9,830	－96	99.0%	6,338	6,855	－517	92.5%
	1日平均	26.7	26.9	－0.2	99.3%	26.1	28.2	－2.1	92.5%
眼科	延数	0	0	0	－	134	26	108	515.4%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	－	0.6	0.1	0.4	515.4%
耳鼻咽喉科	延数	1,244	913	331	136.3%	3,918	3,665	253	106.9%
	1日平均	3.4	2.5	0.9	136.6%	16.1	15.1	1.0	106.9%
放射線科	延数	0	0	0	－	4,325	4,434	－109	97.5%
	1日平均	0.0	0.0	0.0	－	17.8	18.2	－0.4	97.5%
歯科 口腔外科	延数	1,778	1,497	281	118.8%	11,370	9,964	1,406	114.1%
	1日平均	4.9	4.1	0.8	119.1%	46.8	41.0	5.8	114.1%
麻酔科	延数	0	0	0	－	0	0	0	－
	1日平均	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	－
救命救急科	延数	7,563	4,296	3,267	176.0%	1,678	1,576	102	106.5%
	1日平均	20.7	11.7	9.0	176.5%	6.9	6.5	0.4	106.5%
計	延数	105,102	94,537	10,565	111.2%	107,605	101,297	6,308	106.2%
	1日平均	288.0	258.3	29.7	111.5%	442.8	416.9	26.0	106.2%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数を集計。

※ 一日平均患者数は小数点第2位を四捨五入。

2. 救急患者受入状況

(単位：件)

区 分				令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
						増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
平日・時間内	ヘリ	転 搬	入院	12	16	-4	75.0%
			外来	1	0	1	-
		直 搬	入院	21	9	12	233.3%
			外来	4	6	-2	66.7%
		計	入院	33	25	8	132.0%
			外来	5	6	-1	83.3%
	救急車	転 搬	入院	495	533	-38	92.9%
			外来	66	70	-4	94.3%
		直 搬	入院	293	259	34	113.1%
			外来	119	101	18	117.8%
		計	入院	788	792	-4	99.5%
			外来	185	171	14	108.2%
	そ の 他		入院	140	130	10	107.7%
			外来	79	36	43	219.4%
	合 計		入院	961	947	14	101.5%
			外来	269	213	56	126.3%
休日・夜間	初期救急医療施設より転送	ヘリ	入院	5	4	1	125.0%
			外来	0	0	0	-
		救 急 車	入院	606	491	115	123.4%
			外来	78	78	0	100.0%
		そ の 他	入院	218	180	38	121.1%
			外来	86	109	-23	78.9%
		計	入院	829	675	154	122.8%
			外来	164	187	-23	87.7%
	紹介無し	ヘリ	入院	15	16	-1	93.8%
			外来	7	6	1	116.7%
		救 急 車	入院	948	921	27	102.9%
			外来	467	558	-91	83.7%
		そ の 他	入院	424	439	-15	96.6%
			外来	642	678	-36	94.7%
		計	入院	1,387	1,376	11	100.8%
			外来	1,116	1,242	-126	89.9%
	合 計		入院	2,216	2,051	165	108.0%
			外来	1,280	1,429	-149	89.6%
総 計			入院	3,177	2,998	179	106.0%
			外来	1,549	1,642	-93	94.3%
			計	4,726	4,640	86	101.9%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。

※ 休日は土日祝日の8:30～翌8:29、夜間は平日の17:00～翌8:29、平日・時間内は平日の8:30～16:59として集計。

3. ドクターカー運行状況

(単位：件、人)

区 分			令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
要 請 元	延岡市 消防本部	出動件数	116	70	46	165.7%
		重症患者人数	56	34	22	164.7%
		ドッキングポイント 利用件数	26	13	13	200.0%
	日向市 消防本部	出動件数	40	14	26	285.7%
		重症患者人数	10	8	2	125.0%
		ドッキングポイント 利用件数	24	11	13	218.2%
	西臼杵 広域行政 事務組合 消防本部	出動件数	37	15	22	246.7%
		重症患者人数	8	0	8	－
		ドッキングポイント 利用件数	17	3	14	566.7%
	美郷町	出動件数	7	4	3	175.0%
		重症患者人数	4	0	4	－
		ドッキングポイント 利用件数	4	2	2	200.0%
	諸塚村	出動件数	0	0	0	－
		重症患者人数	0	0	0	－
		ドッキングポイント 利用件数	0	0	0	－
	椎葉村	出動件数	0	0	0	－
		重症患者人数	0	0	0	－
		ドッキングポイント 利用件数	0	0	0	－
合計		出動件数	200	103	97	194.2%
		重症患者人数	78	42	36	185.7%
		ドッキングポイント 利用件数	71	29	42	244.8%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の救急患者数を集計。

4. 手術件数

(単位：件)

区 分		令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年度 増減率 (A／B)
内科	5,000点未満	71	72	98.6%
	5,000～19,999点	257	226	113.7%
	20,000点以上	42	16	262.5%
	計	370	314	117.8%
心療内科 ・精神科	5,000点未満	0	0	－
	5,000～19,999点	0	0	－
	20,000点以上	0	0	－
	計	0	0	－
脳神経 内科	5,000点未満	0	0	－
	5,000～19,999点	0	0	－
	20,000点以上	0	0	－
	計	0	0	－
循環器 内科	5,000点未満	241	170	141.8%
	5,000～19,999点	170	195	87.2%
	20,000点以上	523	449	116.5%
	計	934	814	114.7%
小児科	5,000点未満	1	1	100.0%
	5,000～19,999点	5	5	100.0%
	20,000点以上	1	0	－
	計	7	6	116.7%
外科	5,000点未満	158	94	168.1%
	5,000～19,999点	480	384	125.0%
	20,000点以上	316	300	105.3%
	計	954	778	122.6%
呼吸器 外科	5,000点未満	16	19	84.2%
	5,000～19,999点	22	13	169.2%
	20,000点以上	159	131	121.4%
	計	197	163	120.9%
整形外科	5,000点未満	152	187	81.3%
	5,000～19,999点	343	486	70.6%
	20,000点以上	333	257	129.6%
	計	828	930	89.0%
脳神経 外科	5,000点未満	45	55	81.8%
	5,000～19,999点	68	68	100.0%
	20,000点以上	68	92	73.9%
	計	181	215	84.2%
心臓血管 外科	5,000点未満	49	36	136.1%
	5,000～19,999点	10	6	166.7%
	20,000点以上	98	136	72.1%
	計	157	178	88.2%

区 分		令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年度 増減率 (A／B)
皮膚科	5,000点未満	178	156	114.1%
	5,000～19,999点	40	37	108.1%
	20,000点以上	1	1	100.0%
	計	219	194	112.9%
泌尿器科	5,000点未満	251	238	105.5%
	5,000～19,999点	88	89	98.9%
	20,000点以上	75	87	86.2%
	計	414	414	100.0%
産婦人科 ・周産期科	5,000点未満	103	107	96.3%
	5,000～19,999点	95	119	79.8%
	20,000点以上	241	274	88.0%
	計	439	500	87.8%
眼科	5,000点未満	0	0	－
	5,000～19,999点	0	0	－
	20,000点以上	0	0	－
	計	0	0	－
耳鼻咽喉科	5,000点未満	151	92	164.1%
	5,000～19,999点	42	22	190.9%
	20,000点以上	26	16	162.5%
	計	219	130	168.5%
放射線科	5,000点未満	0	0	－
	5,000～19,999点	0	0	－
	20,000点以上	0	0	－
	計	0	0	－
歯科 口腔外科	5,000点未満	1,952	1,747	111.7%
	5,000～19,999点	12	9	133.3%
	20,000点以上	4	1	400.0%
	計	1,968	1,757	112.0%
救命救急科	5,000点未満	168	137	122.6%
	5,000～19,999点	20	10	200.0%
	20,000点以上	12	12	100.0%
	計	200	159	125.8%
計	5,000点未満	3,536	3,111	113.7%
	5,000～19,999点	1,652	1,669	99.0%
	20,000点以上	1,899	1,772	107.2%
	計	7,087	6,552	108.2%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、手術として取扱った件数を集計。

5. 周産期件数

(単位：人)

区 分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
			増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
経膣分娩	78	94	-16	83.0%
帝王切開	83	98	-15	84.7%
合計	161	192	-31	83.9%
周産期センター入院数	91	121	-30	75.2%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

6. 透析件数

(単位：人、件)

区 分		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
人工透析 (透析台数：10台)	実患者数	197	166	31	118.7%
	延透析回数	1,538	1,372	166	112.1%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の透析患者数、件数を集計

※ 透析台数は令和5年3月31日現在。

7. 剖検件数・臨床検査件数（委託・受託検査を除く）

(単位：件)

区 分		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
剖 検 件 数		10	9	1	111.1%
臨 床 検 査	一 般 検 査	27,206	26,585	621	102.3%
	血 液 検 査	188,971	163,594	25,377	115.5%
	微 生 物 検 査	27,951	22,302	5,649	125.3%
	輸 血 検 査	24,895	22,458	2,437	110.9%
	生 化 学 検 査	1,142,879	1,011,988	130,891	112.9%
	病 理 ・ 細 胞 診 検 査	14,324	14,296	28	100.2%
	生 理 検 査	21,054	19,414	1,640	108.4%
	コロナに関する検査 (PCR検査)	2,941	11,538	-8,597	25.5%
	コロナに関する検査 (抗原検査)	1,892			
	合 計	1,452,123	1,292,184	159,939	112.4%

※ 各年度（4月1日～3月31日）の件数を集計。

8. 放射線件数

(単位：人、件)

区 分			令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
直 接 撮 影	単 純	延患者数	49,033	44,088	4,945	111.2%
		延 件 数	63,855	58,434	5,421	109.3%
	造 影	延患者数	674	553	121	121.9%
		延 件 数	2,429	2,000	429	121.5%
特 殊 撮 影	血管造影	延患者数	1,065	965	100	110.4%
		延 件 数	21,533	19,934	1,599	108.0%
	C T	延患者数	14,976	12,815	2,161	116.9%
		延 件 数	39,819	31,741	8,078	125.4%
	R I	延患者数	805	700	105	115.0%
		延 件 数	5,124	4,360	764	117.5%
	MR I	延患者数	3,082	2,917	165	105.7%
		延 件 数	22,427	22,545	-118	99.5%
放 射 線 治 療	リニアック	延患者数	5,916	5,723	193	103.4%
		延 件 数	12,898	12,632	266	102.1%
	その他	延患者数	240	232	8	103.4%
		延 件 数	240	232	8	103.4%
その他		延患者数	9,884	5,380	4,504	183.7%
		延 件 数	9,884	5,380	4,504	183.7%
合 計		延患者数	85,675	73,373	12,302	116.8%
		延 件 数	178,209	157,258	20,951	113.3%

- ※ 各年度（4月1日～3月31日）の患者数、件数を集計。
 ※ 件数については、直接撮影は曝射回数を、特殊撮影は撮影方向数を計上。
 ※ その他については、骨塩定量、医用画像の提供等上記のいずれにも属さないものを計上した。
 ※ 集計方法の変更により、令和6年度分数値において令和5年度分との単純比較は不可とする。

9. 薬剤関係件数

(単位：件)

区 分				令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年度比較			
						増減数 (A－B)	増減率 (A／B)		
調 剤 件 数	調 剤	内 用	入 院		96,131	86,474	9,657	111.2%	
			外 来		3,795	3,408	387	111.4%	
			計		99,926	89,882	10,044	111.2%	
		外 用	入 院		9,259	8,639	620	107.2%	
			外 来		529	468	61	113.0%	
			計		9,788	9,107	681	107.5%	
	件	頓 服	入 院		9,649	9,687	－38	99.6%	
			外 来		1,295	1,313	－18	98.6%	
			計		10,944	11,000	－56	99.5%	
		数	計	入 院		115,039	104,800	10,239	109.8%
				外 来		5,619	5,189	430	108.3%
				計		120,658	109,989	10,669	109.7%
	数	処方せん枚数 (枚)	入 院		53,660	49,871	3,789	107.6%	
			外 来		1,078	1,136	－58	94.9%	
			計		54,738	51,007	3,731	107.3%	
院 外 処 方 せ ん 発 行 枚 数 (枚)				36,239	34,177	2,062	106.0%		
注 射 関 係	注 射 交 付 件 数	入院注射せんによる交付 (枚)		80,557	66,113	14,444	121.8%		
		外来注射せんによる交付 (枚)		20,798	20,740	58	100.3%		
	無菌調製件数	経 中 心 静 脈 栄 養	調製件数	91	39	52	233.3%		
			調剤件数	109	54	55	201.9%		
		入 院 患 者 抗 が ん 剤	調製件数	3,120	3,374	－254	92.5%		
			調剤件数	4,468	4,692	－224	95.2%		
		外 来 患 者 抗 が ん 剤	調製件数	3,944	3,699	245	106.6%		
			調剤件数	5,736	5,665	71	101.3%		
伝 票 に よ る 薬 剤 交 付 件 数				77,866	77,119	747	101.0%		
製 剤 延 件 数				182	179	3	101.7%		
薬 物 血 中 濃 度 解 析 (T D M) 件 数				398	296	102	134.5%		
服 薬 指 導	指 導 患 者 数			3,456	3,791	－335	91.2%		
	指 導 件 数			4,603	5,442	－839	84.6%		
				薬 剤 管 理 指 導 件 数	4,559	5,400	－841	84.4%	
	退 院 時 薬 剤 情 報 管 理 指 導 件 数			801	849	－48	94.3%		
	が ん 患 者 指 導 管 理 件 数			128	121	7	105.8%		
特 定 薬 剤 治 療 管 理 指 導 料 2 算 定 件 数				282	271	11	104.1%		
持 参 薬 鑑 別 件 数				6,430	6,131	299	104.9%		

※ 各年度 (4月1日～3月31日) の件数を集計。

10. リハビリテーション件数

(単位：件)

区 分			令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
					増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	運動器	理学療法	12,890	15,401	-2,511	83.7%
		作業療法	6,898	3,063	3,835	225.2%
		言語療法	0	0	0	－
	脳血管疾患等	理学療法	5,188	5,947	-759	87.2%
		作業療法	4,773	5,974	-1,201	79.9%
		言語療法	3,872	4,249	-377	91.1%
	呼吸器	理学療法	3,997	3,013	984	132.7%
		作業療法	1,121	949	172	118.1%
		言語療法	1,808	1,250	558	144.6%
	心大血管疾患	理学療法	5,318	5,751	-433	92.5%
		作業療法	1,665	2,453	-788	67.9%
		言語療法	0	0	0	－
	がん患者	理学療法	6,301	4,744	1,557	132.8%
		作業療法	4,088	4,263	-175	95.9%
		言語療法	815	848	-33	96.1%
	廃用症候群	理学療法	5,086	4,269	817	119.1%
		作業療法	2,135	2,493	-358	85.6%
		言語療法	1,101	868	233	126.8%
	摂食機能療法	理学療法	0	0	0	－
		作業療法	0	0	0	－
		言語療法	56	115	-59	48.7%
	初期加算	理学療法	18,694	20,376	-1,682	91.7%
		作業療法	9,631	8,647	984	111.4%
		言語療法	3,990	4,048	-58	98.6%
	早期加算	理学療法	27,945	30,409	-2,464	91.9%
		作業療法	14,132	12,991	1,141	108.8%
		言語療法	5,792	5,887	-95	98.4%
	急性期加算	理学療法	905	0	905	－
		作業療法	905	0	905	－
		言語療法	973	0	973	－
	総合評価	理学療法	2,382	2,170	212	109.8%
		作業療法	799	663	136	120.5%
		言語療法	89	54	35	164.8%
医学管理	退院時指導	理学療法	1,096	1,019	77	107.6%
		作業療法	372	394	-22	94.4%
		言語療法	22	8	14	275.0%
合 計		理学療法	89,802	93,099	-3,297	96.5%
		作業療法	46,519	41,890	4,629	111.1%
		言語療法	18,518	17,327	1,191	106.9%

※各年度（4月1日～3月31日）の保険点数上、リハビリテーション料として取扱った件数を集計。

11. 臨床工学関連件数

(単位：件)

区分		令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
保守 点検 部門	日常・返却時点検	12,827	9,913	2,914	129.4%
	定期点検	737	649	88	113.6%
	修理対応	261	591	-330	44.2%
	呼吸器使用中点検	1,140	468	672	243.6%
手術 部門	人工心肺業務	17	34	-17	50.0%
	ステントグラフト内挿術	28	39	-11	71.8%
	脳神経外科手術支援(MEP/SEP)	11	16	-5	68.8%
	手術室内機器保守管理	73	59	14	123.7%
	機器日常点検	3,385	3,859	-474	87.7%
	修理対応	43	250	-207	17.2%
	ペースメーカーリード抜去	1	7	-6	14.3%
	内視鏡カメラ セッティング・記録支援 検査・治療補助	120	144	-24	83.3%
心臓 カテ テル 部門		896 急患=256 PCI =340	774 急患=256 PCI =381	122	115.8%
	画像診断装置操作	15	24	-9	62.5%
	補助循環業務(IABP)	34	34	0	100.0%
	補助循環業務(PCPS)	17	11	6	154.5%
	補助循環(インペラ)	12	13	-1	92.3%
	ペースメーカー植え込み	105	118	-13	89.0%
	アブレーション	140	52	88	269.2%
血液 浄化 部門	透析室業務	1,448	1,372	76	105.5%
	出張透析	90	50	40	180.0%
	BCM	70	0	70	-
	エンドトキシン測定 (水質チェック)	12	12	0	100.0%
	RO装置消毒	8	12	-4	66.7%
	カプラ消毒	2	7	-5	28.6%
	透析装置機器管理保守	3	4	-1	75.0%
	日常点検	4,614	4,211	403	109.6%
	アフエレーシス業務	21	21	0	100.0%
	急性血液浄化業務(CHDF PMX)	29	27	2	107.4%
メー カ ー 関 連	外来定期検査	1,537	1,392	145	110.4%
	遠隔モニタリング	3,906	3,117	789	125.3%
	検査/手術等に伴う設定変更	182	181	1	100.6%
SAS 関連	SAS関連 (スクリーニング/簡易検査/PSG)	0	0	0	-
勉強会	勉強会	16	14	2	114.3%
合計		31,800	27,475	4,325	115.7%

※ 各年度(4月1日～3月31日)で集計。

12. 給食年報

(単位：食)

区 分		令和 6 年度 (A) 365日	令和 5 年度 (B) 366日	対前年度比較		
				増減数 (A－B)	増減率 (A／B)	
常食	延給食数	83,042	82,624	418	100.5%	
	1食平均	75.8	75.2	0.6	100.8%	
軟食	延給食数	45,250	35,504	9,746	127.5%	
	1食平均	41.3	32.3	9.0	127.8%	
流動食	延給食数	19,280	14,821	4,459	130.1%	
	1食平均	17.6	13.5	4.1	130.4%	
特別食	加算あり	延給食数	86,139	82,423	3,716	104.5%
		1食平均	78.7	75.1	3.6	104.8%
	加算なし	延給食数	12,223	9,660	2,563	126.5%
		1食平均	11.2	8.8	2.4	126.9%
合計		延給食数	247,045	225,032	22,013	109.8%
		1食平均	225.6	204.9	20.7	110.1%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

※ 令和6年度より付き添い者食数を含む。

※ 令和6年度付き添い食数は1,111食。

13. 患者支援センター関連件数

(単位：件)

区分		令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	対前年度比較	
				増減数 (A－B)	増減率 (A／B)
業務	相談件数	6,398	6,131	267	104.4%
	外来診療 FAX予約件数	6,003	5,511	492	108.9%
支援数	前方支援患者数	2,079	2,313	-234	89.9%
	転院調整患者数	1,319	1,180	139	111.8%
加算	入院時支援加算 1	698	762	-64	91.6%
	入退院支援加算 1	4,120	3,479	641	118.4%
	介護連携指導料	418	423	-5	98.8%
	退院時共同指導料	33	30	3	110.0%

※ 各年度（4月1日～3月31日）で集計。

第3章 研究業績

内 科

講演会

- びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する治療方針
エプキンリ発売記念講演会 in 宮崎 2024. 4. 10
外山孝典

- 当院での血友病診療
第 2 回あす A あす B 血友病セミナー in 九州沖縄 2024. 4. 13
外山孝典

- 再発・難治 CLL の治療戦略～BCL2 阻害薬を中心に～
Hematology Expert Meeting in Miyazaki 2024.7.5
外山孝典

- HDAC 阻害剤による長期的な治療
WEB カンファレンス 2024.7.9
外山孝典

- WM/LPL の薬物治療変遷と当院での治療経験
令和 6 年 7 月二水会 2024.7.10
外山孝典

- Evidence と Practice から考えるイブルチニブの有用性
BCM Webinar in Kyusyu 2024.7.18
外山孝典

- 自家末梢血幹細胞移植を行った AH 型原発性アミロイドーシス
第 18 回宮崎骨髓腫研究会 2024.7.20
外山孝典

- 真性多血症のゴール
Polycythemia vera Seminar in Kyushu 2024.7.25
外山孝典

- 循環器内科医のがん診療 2024
第 4 回県北腫瘍循環器講演会, 座長 2024.7.26
外山孝典
- 患者さんの目線に沿った LR-MDS の治療戦略
レブロジル発売記念セミナーin 宮崎 2024.9.5
外山孝典
- IsaKD 療法が奏効している難治性多発性骨髄腫の 1 例
Multiple Myeloma Seminar in MIYAZAKI 2024.9.13
外山孝典
- 当院におけるチラブルチニブの使用経験
宮崎県血液疾患治療セミナー 2024.9.25
外山孝典
- 当院における DLBCL に対するエブリコタマブ療法
東九州血液疾患講演会 2024.11.2
外山孝典
- IsaKD 療法が奏効し, その後, Isa20D 療法で長期に維持している 1 例 Multiple Myeloma Seminar in 九州・沖縄 2024.11.6
外山孝典
- コロナ時代における FL 治療戦略
Follicular Lymphoma Seminar 2024.11.25
外山孝典
- 化学療法中に行った開腹手術で治療方針が決定した悪性リンパ腫の 2 症例 Cancer Board
2024.12.5
外山孝典
- 維持療法から考える多発性骨髄腫の治療～Well being を踏まえて Multiple Myeloma Well
being Webinar 2 2024.12.9
外山孝典

- ベスレミの適応患者像を考える
西日本真性多血症 Web セミナー 2024. 12. 18
外山孝典
- カイプロリス使用の実際と副作用マネジメントについて
Doctors' voices from clinical practice 2024. 3. 5
外山孝典
- 臨床経験から学ぶルスパテルセプトの最適な使用方法
5-Day Cosecutive Reblozyl Webinar Series 2024.3.7
外山孝典
- 多発性骨髄腫治療の新時代におけるカルフィルゾミブの役割
Hematology フロンティア 2024. 3. 14
外山孝典
- BCMA 標的療法をふまえたプロテアソーム阻害剤のポジショニング
Hematology フロンティア, 座長 2024. 3. 14
外山孝典

学術集会

- エルトロンボパグ開始後に血栓症を発症した特発性血小板減少性紫斑病 第 345 回 日本内科学会九州地方会 2024. 5. 25
内科 外山孝典, 山口哲朗, 総合診療科 松田俊太郎
- 当院での経験から Isa20D レジメンを考察する
第 49 回日本骨髄腫学会学術集会 2024. 6. 1
内科 外山孝典
- Study of daratumumab regimen for patients of newly multiple myeloma in our hospital
第 86 回 日本血液学会学術集会 2024. 10. 12
内科 外山孝典
- MTX 長期投与後に肝硬変を発症した 1 剖検例
第 347 回 日本内科学会九州地方会 2024. 11. 17
内科 外山孝典, 山口哲朗

循環器内科

講演会

- 山本展誉
県立延岡病院における新規降圧薬を用いた高血圧治療の実際
大塚・ノバルティス 世界高血圧デー 2024. 5. 17 , 宮崎
- 伊藤美和
かかりつけ医のためのわかりやすい循環器講演会
『不整脈診療を考える～ガイドライン改訂を踏まえて～』
第一三共 2024. 6. 12 , 宮崎 延岡
- 伊藤美和
1次予防について考える
BIOTRONIC Web Conference. 2024.8.21 , Web
- 伊藤美和
心房細動の最新トピックス
トーアエイヨーWeb Conference. 2024.9.4 , Web
- 山本展誉
ここまで進んだ心不全治療
県民健康講座 2024. 12. 18 , 当院

国際学会

- European Bifurcation Club 2024, ドイツ、フランクフルト (WEB 参加) 2024/8/3-4
Kurogi K, Tokai T, Shirahama Y, Yamamoto N, Serikawa T, Ishii M, Tsujita K.
Real-time intravascular ultrasound guidance versus angiography guidance for left anterior descending artery ostial stenting
- APHRS 2024. 26-29 September 2024, Sydney
Miwa Ito
Comparison of Two Cryoballoon System for Pulmonary Vein Isolation

国内学会

- KOKURA Live 2024, 2024.5.11-12, 福岡県北九州市
黒木 一公
CTO basic: 私が考えるアプローチとガイディングの選択の重要性
- 第 345 回 内科学会九州地方会 2024. 5. 25 内科専攻医賞受賞
伊豆元心太郎
良好な転帰を得た冠動脈多枝病変を有する重症虚血性心不全の一例
- 宮崎ハートフォーラム 2024. 5. 31
伊豆元心太郎
当院における IMPELLA を使用した心不全治療
- 第4回日本不整脈心電図学会 九州地方会. 2024. 6. 1 , 福岡
伊藤美和
当院におけるCRT初回植え込みとUp gradeによる予後の比較
- 伊藤美和
徐脈・デバイス治療 1 ショートレクチャー ; ICD 1 次予防の適応について
- 第136回日本循環器学会九州地方会. 2024. 6. 29 , 鹿児島
伊藤美和
働き方改革について ; コメンテーター
- 日本不整脈心電図学会. 2024. 7. 19 , 金沢

スポンサードセミナー

- 伊藤美和
心房細動患者における最適なフォローアップを考える
-心房不整脈治療の新たな選択肢- New Deviceを使いこなせ !
- Miwa Ito
Comparison of Two Cryoballoon System for Pulmonary Vein Isolation

- 第 32 回 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 学術集会 2024 (2024. 7. 25-27) , 札幌市

パネルディスカッション

- 黒木 一公
当院の CTO 症例での心臓 CT 活用法

OCT/OFDI研究会 基調講演

- 黒木 一公
マルチモダリティで評価する石灰化治療～CTとOCT/OFDI

一般演題

- 伊豆元心太郎
複雑分岐部病変に対するmodified jailed balloonテクニックとReal JABテクニックの戦略的併用

メディカル一般ポスター

- Kazumasa Kurogi, Tatsuya Tokai, Shintaro Izumoto, Takayuki Mori, Teppei Murata, Nobuyasu Yamamoto.
Real-time intravascular ultrasound guidance versus angiography guidance for left anterior descending artery ostial stenting
- 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 第 37 回九州地方会 2024. 8. 23-24 , 佐賀市

Young Investigator's Award (YIA)

- 東海 達也
リアルタイム IVUS ガイドで造影剤を使用せずに適切な留置を行うことができた 1 例
- 山本展誉
YIAセッション ; 審査員

ランチョンセミナー

- 黒木 一公
Ryusei for ACS

一般演題

- 森 隆之
治療方針に悩んだ低左心機能の冠動脈3枝病変(2枝CTO)の一例
- カテーテルアブレーション関連秋季大会. 2024年10月10日, 大阪
伊藤美和
心房細動カテーテルアブレーション術後の長期ホルター心電図の有用性についての検討
- Complex Cardiovascular Therapeutics (CCT) 2024 2024/10/24-26, 神戸市
Kazumasa Kurogi
How to use debulking devices in stentless PCI
- 第46回九州虚血性心疾患研究会 2024. 10. 19
伊豆元心太郎
心原性ショックに対して Impella サポート下で PCI を行った ACS 症例について
- 県北学術研究会 2024. 10. 29
伊豆元心太郎
当院における Impella を用いた心原性ショック/心不全に対する治療戦略について
- ARIA (Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement) 2024, 11. 21-23, 福岡市
黒木 一公
ACS での分岐部治療
- 黒木 一公
石灰化の BEST な治療法: RA/OA 後に IVL を使いたい症例
- 黒木 一公
10min 非ハイボリューム、マスターのいない施設で CTO を学ぶ方法

- 森 隆之
Guidewire Bias Control を意識した OAS+ROTA Combination Therapy で石灰化処理ステントレス治療が行えた症例
- 第137回日本循環器学会九州地方会. 2024. 12. 14 , 大分
伊藤美和
YIA臨床研究セッション；審査員
- 植え込みデバイス関連冬季大会. 2025. 2. 21 , 福岡
伊藤美和
当院における ICD 適応症例に対する植え込みの現状
- J-Calc (Japan calcification club) 2025, 大阪市 (2025. 3. 14-15)
黒木 一公
石灰化病変治療に活かす心臓 CT
- 第 89 回 日本循環器学術集会 2025. 3. 29 , 横浜市
伊豆元心太郎
Identifying the Slow-Flow and No-Reflow Risk in Acute Coronary Syndrome Patients Undergone Prolonged Inflation with Perfusion Balloon Bfore Stenting

PCI ライブオペレーター

- KOKURA Live 2024, 2024.5.11-12 , 福岡県北九州市
黒木 一公
- ARIA (Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement) 2024, 11.21-23, 福岡市
ARIA2024 「石灰化病変」 PCI ライブオペレーター ,
黒木 一公

原著論文

- Kurogi K, Tokai T, Shirahama Y, Yamamoto N, Serikawa T, Ishii M, Tsujita K.
Real-Time Intravascular Ultrasound Guidance Versus Angiographic Guidance for Precise Left Anterior Descending Artery Ostial Stenting. Am J Cardiol. 2024 Sep 1;226:36-39.

- 志場 伸朗（広島大学 大学院医系科学研究科集中治療学）、村田哲平 他
日本版敗血症診療ガイドライン 2024、日本救急医学会雑誌 (0915-924X) 35 巻 S1 PageS1-S149 (2024. 12)

- 村田哲平 他 東京都 CCU ネットワーク学術委員会
「東京都循環器救急の現状と未来予想図」-この 10 年に私たちは何を捉え、次の 10 年に何を予測するか- 高リスク肺塞栓症の 10 年間の動向（2010-2019）
ICU と CCU（0389-1194）48 巻別冊 Page S85-S89（2024. 12）

小 児 科

学会発表

- 「SHOX 異常症により低身長をきたした 13 歳女兒」
中村 賢二
2024. 5. 10 第 31 回 県北小児科研究会 当院
- 「当科の新型コロナウイルス感染症入院症例まとめ」
佛淵 尚人
2024. 5. 10 第 31 回 県北小児科研究会 当院
- 「乳幼児突然死の原因究明について～4 例の乳幼児突然死を経験して」
太富 滉平
2024. 5. 10 第 31 回 県北小児科研究会 当院
- 「小児在宅医療と病診連携」
久保田 力
2024. 5. 10 第 31 回 県北小児科研究会 当院

外 科

学会発表

- 術前肝線維化と骨格筋量は大腸癌根治切除後の予後と関連する
前田裕斗, 宮本裕士, 日吉幸晴, 大内繭子, 間端 輔, 小澄敬祐, 江藤弘二郎, 井田 智, 岩槻政晃, 馬場祥史, 吉田直矢, 馬場秀夫
2024. 4. 18-20 第 124 回日本外科学会 愛知県 (hybrid)
- 胃癌手術における栄養・炎症指標と術後短期成績の高齢者と若年者での比較検討
原田和人, 中村 尋, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一
2024. 4. 18-20 第 124 回日本外科学会 愛知県 (hybrid)
- Segmental arterial mediolysis による腹腔内出血を認めた 1 例
鈴木裕紀子, 原田和人, 中村 尋, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一
2024. 4. 18-20 第 124 回日本外科学会 愛知県 (hybrid)
- 大腸癌術根治後の感染性合併症のリスク因子に関する栄養因子を含めた検討
土居浩一, 中村 尋, 原田和人, 石躍裕之, 本田志延
2024. 4. 18-20 第 124 回日本外科学会 愛知県 (hybrid)
- 消火器癌における予後予測としてのサルコペニアの検討
前田裕斗, 土居浩一, 原田和人, 石躍裕之, 本田志延
2024. 6. 8 第 27 回宮崎 NST 研究会 宮崎市 (hybrid)
- 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置の有用性の検討
中村 尋, 原田和人, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一
2024. 7. 17-19 第 79 回日本消化器外科学会 下関市 (hybrid)
- 胃癌手術における栄養・炎症指標と術後短期成績の網羅的検討
原田和人, 中村 尋, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一
2024. 7. 17-19 第 79 回日本消化器外科学会 下関市 (hybrid)
- 大腸癌術根治後の感染性合併症のリスク因子に関する Cally index の有用性の検討
土居浩一, 中村 尋, 原田和人, 石躍裕之, 本田志延
2024. 7. 17-19 第 79 回日本消化器外科学会 下関市 (hybrid)

- The utility of transcatheter arterial embolization for gastroduodenal bleeding due to advanced cancer.

土居浩一, 前田裕斗, 山根大侍, 石躍裕之, 本田志延

2024. 10. 24-26 第 62 回癌治療学会 福岡市 (hybrid)

- 肝のう胞出血の一切除例の経験

山根大侍, 土居浩一, 松本千尋, 山根大侍, 石躍裕之, 本田志延

2025. 1. 13 第 40 回九州肝臓外科研究会 福岡市

- 大腸癌術根治後の感染性合併症のリスク因子に関する栄養因子を含めた検討

土居浩一, 松本千尋, 山根大侍, 石躍裕之, 本田志延

2025. 2. 13-14 第 40 回日本臨床栄養代謝学会 横浜市 (hybrid)

- 当院における大腸癌治療の取り組み

松本千尋, 山根大侍, 石躍裕之, 本田志延, 土居浩一

2025. 2. 28 第 78 回宮崎大腸癌研究会 宮崎市 (hybrid)

整 形 外 科

講演会

- 県北における労働災害について 栗原典近
令和6年度宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会 宮崎県労災部会 合同学会
2024. 7. 6 宮崎市

学会発表

- 内側楔状骨骨折を伴うリスフラン靱帯損傷の2例 座間味 陽
2024. 11. 8 第49回足の外科学会学術集会 東京都
- 小児距骨骨折に対して手術加療を施行した1例 座間味 陽
2024. 12. 7 第89回宮崎県整形外科懇話会 宮崎市
- 立方骨単独骨折に対して骨折観血的手術を施行した1例 座間味 陽
2024. 12. 22 第148回西日本整形・災害外科学会学術集会 鹿児島市
- 末期変形性膝関節症に対するS-flurbiprofen plasterの効果と継続率
井口公資 2024. 6. 22 88回 宮崎整形外科懇話会 宮崎市
- Measured-Resection Technique とナビゲーション併用のTibia first technique
とで行ったCR—TKAの臨床成績と膝関節安定性の比較：傾向マッチドコホートス
タディ
井口公資 2024. 12. 6-7 第2回日本膝関節学会 那覇市
- 中手骨基部粉碎骨折を伴うCM関節脱臼骨折の2例
井口公資 2024. 12. 21-22 第148回西日本整形外科・災害外科学会 鹿児島市
- 主科による転移性骨腫瘍への考え
石原和明、第147回西日本整形・災害外科学術集会 2024. 6. 1-2、北九州市
- 大腿骨転子部骨折早期手術のための外傷手術枠の必要性
石原和明、第50回日本骨折治療学会学術集会、2024. 6. 28-29、仙台市

- 大腿骨近位部骨折患者におけるびまん性特発性骨増殖症の有病率
石原和明、第 26 回日本骨粗鬆症学会、2024. 10. 11-13、金沢市
- 短距離走で生じた若年男性の坐骨結節裂離骨折に対して骨折観血的手術を施行した 1 例
肥後 聖 148 回西日本整形・災害外科学会学術集会 2024. 12. 21-22 鹿児島市
- 大腿骨遠位骨幹部骨折術中に発生した大腿骨頸部骨折に対して内固定を施行した 1 例
肥後 聖 第 89 回宮崎整形外科懇話会 2024. 12. 7 宮崎市

論文

- All-Inside Arthroscopic Tie-Grip Suture Repair for Radial Tear in the Midbody of Lateral Meniscus Using an All-Inside Device and Slotted Cannula. Masaki Iguchi et al. Arthrosc Tech. 2024 Jul 28;13(12):103139. doi: 10.1016/j.eats.2024.103139. eCollection 2024 Dec.
- Comparison of postoperative clinical outcomes and knee stability of cruciate-retaining total knee arthroplasty using the tibia-first gap navigation technique with a computer-aided system and measured-resection technique: A retrospective analysis of a propensity-matched cohort
Masaki Iguchi et al
J Exp Orthop. 2024 Jul 5;11(3):e12084. doi: 10.1002/jeo2.12084. eCollection 2024 Jul. PMID: 38974051
- 鎖骨骨幹部骨折に髄内釘を使用した小経験(原著論文)
井口 公貴(宮崎県立延岡病院 整形外科), 小藺 敬洋, 飯田 暁人, 北島 潤弥, 石原 和明, 大倉 俊之, 栗原 典近
整形外科と災害外科(0037-1033)73 巻 3 号 Page510-513(2024. 09)
- 当院における転移性脊椎腫瘍の扱い 石原和明、整形外科と災害外科、2024 年;Vol173, No1、106-108
整形外科病棟におけるインシデントレポート 石原和明, 宮崎整形外科研究会誌、2024 年、第 29 号、6-7

執筆

- 別冊整形外科(0287-1645)86 号 Page26-30(2024. 10)
【整形外科外来診療の工夫--診断, 保存療法, 外来手術】総論 薬物療法 変形性膝関節症に S-flurbiprofen plaster を用いた使用経験(原著論文)
井口 公貴(宮崎県立延岡病院 整形外科), 高橋 恒存, 竹下 克志

呼 吸 器 外 科

学会発表

- 非結核性抗酸菌による有癭性膿胸の3例、第41回日本呼吸器外科学会学術総会、2024.5月、濱廣 友華、能勢 直弘、長野県北佐久郡
- 続発性難治性気胸に対して携帯型気胸ドレナージキットを用いて外来経過観察が可能となった1例、第41回日本呼吸器外科学会学術総会、2024.5月、岩下 和生、能勢 直弘、濱廣 友華、長野県北佐久郡
- アスベスト関連原発性肺癌が疑われ、呼吸器外科医が労災申請に積極的に関与した7例の労災認定状況の検討、第41回日本呼吸器外科学会学術総会、2024.5月、能勢 直弘、濱廣 友華、長野県北佐久郡
- 気管支断端縫合部補強のための心膜周囲脂肪織皮弁の検討、第41回日本呼吸器外科学会学術総会、2024.5月、能勢 直弘、濱廣 友華、長野県北佐久郡
- 実臨床における肺癌術後補助化学療法施行状況の検討、能勢 直弘、第65回日本肺癌学会学術総会、2024.10月、横浜市

心 臓 血 管 外 科

講演会

- 逆行性 DeBakey3, Stanford A 型急性大動脈解離に対し亜急性期に LSA chimney, zone2 TEVAR を施行した経験
松山正和
2024. 5. 29 大分県別府市
第 52 回日本血管外科学会学術総会
- A 型解離術後の大動脈基部解離と弓部偽腔拡大に対して中枢側手術の際に腕頭動脈バイパス追加し二期的に De-branched TEVAR を行った症例
岩崎あや香
2024. 5. 29 大分県別府市
第 52 回日本血管外科学会学術総会
- 異なるアプローチで救肢を得た下腿三分枝閉塞の 2 例
柏田 芙実佳
2024. 8. 31 福岡県福岡市
第 121 回日本血管外科学会九州地方会

座 長

- 急性動脈閉塞に対する治療方針
松山正和
2024. 5. 30 大分県別府市
第 52 回日本血管外科学会学術総会

泌 尿 器 科

学会発表

- Comparison of ureteral single-J stent and double-J stent in patients with obstructive pyelonephritis secondary to urolithiasis.
Isamu Otsuka, Taichi Kozako, Hirotaka Isikawa, Yasuhiro Yamashita
第 111 回日本泌尿器科学会総会 2024. 4. 26
- 多発性骨髄腫の加療中に精巣転移をきたした 1 例
大塚武、小迫太一、島尾義也、外山孝典、山下康洋
第 89 回日本泌尿器科学会東部総会 2024. 10. 04
- 上部尿路 BCG 注入療法施行中に薬剤性肝障害と播種性 BCG 感染症を生じ集中治療を要した 1 例
大塚武、小迫太一、小野健太、市成直樹、畠中健吾、金丸勝弘、島尾義也、山下康洋
第 96 回日本泌尿器科学会宮崎地方会 2025. 01. 18
- 限局性前立腺癌に対して重粒子線治療後に片側精巣転移を来した 1 例
小迫太一、大塚武、山下康洋
第 89 回日本泌尿器科学会東部総会 2024. 10. 04
- PSA failure 後のカバジタキセル継続についての検討
小迫太一、大塚武、山下康洋
第 96 回日本泌尿器科学会宮崎地方会 2025. 01. 18

Original article

- Hydrocortisone treatment is associated with early recovery from severe septic shock in patients with obstructive pyelonephritis due to upper urinary tract stone.
Isamu Otsuka, Koshiro Nishimoto, Taichi Kozako, Katsuhiro Kanemaru, Yasuhiro Yamashita, Toshiyuki Kamoto, Aturo Sawada
BJUI Compass: Volume 6, Issue 2, February 2025

産婦人科・周産期科

学会発表

- 当院の常位胎盤早期剥離症例の臍帯動脈血 pH に影響する因子の検討
都築康恵、和田陽花、大澤綾子、山内綾、大塚晃生
令和 6 年度宮崎県産科婦人科学会・春期学術講演会 2024. 4. 27 (宮崎市)
- 広汎子宮全摘術(RH)に傍大動脈リンパ節郭清術(PAN)を追加することの妥当性
大澤綾子、大塚晃生、川口涼大、都築安江、山内綾、寺尾公成
第 79 回九州連合産科婦人科学会 2024. 5. 25-26 (北九州市小倉北区)
- 近年の婦人科癌治療について ～子宮体癌、卵巣癌、子宮頸癌～
大塚晃生
延岡レジメンセミナー 2024. 6. 6 (延岡市)
- 金髪様の頭髪を呈し、当初白皮症が疑われたプラダーウィリ症候群の 1 例
大富滉平、久保田カ、佛澗尚人、中村憲二、川口涼大、都築康恵、大澤綾子、
山内綾、大塚晃生、寺尾公成人
第 60 回日本周産期、新生児医学会学術集会 2024. 7. 13-15 (大阪市)
- IMRT による術後補助放射線療法 ～従来の 3 DRT との比較～
和田陽花、都築康恵、大澤綾子、山内綾、大塚晃生
令和 6 年度宮崎県産科婦人科学会・秋期学術講演会 2024. 9.14 (宮崎市)

論文発表

- 進行・再発子宮体癌に対する新しい治療法
～レンバチニブ+ペムブロリズマブ療法～
都築康恵、大塚晃生、小畑静、管野知佳、山内綾、寺尾公成
宮崎県医師会医学会雑誌 48(1):26 - 30, 2024.
- 産褥に肝障害が再燃した HELLP 症候群の 1 例
大澤綾子、山内綾、川口涼大、都築康恵、管野知佳、大塚晃生、寺尾公成
宮崎県医師会医学会雑誌 48(1):48 - 53, 2024.
- 妊婦の新型コロナウイルス感染症
～中等度 I 母体に発生した胎児機能不全の 1 例～
山内綾、児玉由紀、管野知佳、徳田温子、山田直史、大塚晃生、寺尾公成、島尾義也、佐藤勇一郎
宮崎県医師会医学会雑誌 48(1):71-76, 2024.

○子宮頸癌において広汎子宮全摘術(RH)に傍大動脈リンパ節郭清術(PAN)を追加する術式の妥当性の検討

大澤綾子、大塚晃生、和田陽花、都築康恵、寺尾公成

宮崎県医師会医学会雑誌 48(2):155 -159, 2024.

○胎児胸水に対して妊娠 18 週に胸腔一羊水シャント術を行い、呼吸補助なく退院できた一例

都築康恵、山田直史、東真理恵、富森馨予、村岡純輔、松澤史、牛島順子、

山下理恵、中目和彦、古川誠志、川越靖之、児玉由紀、金子政時、鮫島浩、桂木真司

宮崎県医師会医学会雑誌 48(2):179 -183, 2024.

○常位胎盤早期剥離症例の臍帯動脈血団に影響する因子の検討

～当院での 10 年間の症例において～

都築康恵、山内綾、和田陽花、大澤綾子、大塚晃生

宮崎県医師会医学会雑誌 48(2):155 -159, 2024.

○強度変調放射線治療(IMRT)による術後補助放射線療法

～従来の 3 次元放射線治療(3DRT)との比較～

和田陽花、大塚晃生、楠原和郎、都築康恵、大澤綾子、山内綾

宮崎県医師会医学会雑誌 49(1):19 - 22, 2025.

リハビリテーション科

院外発表・地域啓発活動

- 2024. 10. 2 海藏 OT・増田 ST 大腿骨頸部骨折・転子部骨折術後せん妄患者に対しての当院での取り組み <地域連携診療計画に係る合同委員会>
- 2024. 10. 18 鍋倉 PT いまさら聞けない、ポジショニング・トランスファーの基本 <宮崎県看護協会>

院内発表

- 2024. 4. 4 芳ヶ迫 PT 新人看護研修プログラム施 新人看護師へのリハビリテーション科概要説明
- 2024. 4. 5 西 PT 新人看護研修プログラム施 新人看護師への移乗動作・腰痛予防
- 2024. 6. 24 古賀 PT・若松 OT ICU勉強会 関節可動域訓練について
- 2024. 7. 24 古賀 PT・倉永 PT 褥瘡委員会 褥瘡予防のアプローチ
- 2024. 9. 9 原田 PT 5 西病棟学習会 心臓リハビリテーションについて
- 2025. 1 芳ヶ迫 PT ナースエイド研修会 腰痛予防と車椅子移乗
- 2025. 2. 17 有馬 PT 緩和ケア オンコロジーおしゃべりサロン

放 射 線 科

【技師】

学 会

- 胸部高分解能 CT 画像における逐次近似再構成法のノイズ低減性能：模擬病変ファン
トムによる評価

藤本 一真

2024. 10. 31-11. 3 第 1 回日本放射線医療技術学術大会 沖縄県宜野湾市

- Sn フィルターの有無による金属アーチファクトの検討

酒匂 剛志

2024. 12. 21-22 第 19 回九州放射線医療技術学術大会 宮崎市

研究会

- Sn フィルターの有無による金属アーチファクトの検討

酒匂 剛志

2024. 11. 16 令和 6 年度一般社団法人宮崎県放射線技師会秋季学術大会 宮崎市

- 当院における肺切除解析について

藏屋 穂乃花

2025. 3. 1 第 11 回宮崎 CT フォーラム 宮崎市

その他

- Hybrid 手術室の運用について

藏屋 穂乃花

2024. 9. 5 第 28 回県立延岡病院学会

- CT 検査における採用造影剤の変更～コスト削減について～

小野 茉奈

2025. 3. 6 第 29 回県立延岡病院学会

歯 科 口 腔 外 科

学会発表

- 口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の2例
山下沙弥香、相川愛恵、山本哲彰、平山聞一、金氏 毅、山下善弘
第69回 日本口腔外科学会総会、2024.11、横浜市.

学術雑誌掲載論文

- 歯科用インプラント関連手術後の遷延する後出血で診断が困難であった後天性第XⅢ因子欠乏症の1例
馬場貴、山本哲彰、福井丈仁、田中文恵、平山聞一、金氏 毅、鹿嶋光司、山下善弘
HOSPITAL DENTISTRY & ORAL-MAXILLOFACIAL SURGERY, 2024;36(1), 95-100.

麻 酔 科

学会発表

- 日本麻酔科学会第 71 回学術集会
COVID-19 妊婦に対する個人防護具下での帝王切開術 - 麻酔導入時間等の所要時間に及ぼす影響- 白阪哲朗、
- 第 44 回日本臨床麻酔科学会
中心静脈カテーテルの椎骨動脈への誤挿入に対して全身麻酔下で抜去した 1 例
白阪哲朗、押川 隆、古澤高廣
- 第 52 回日本集中治療医学会学術集会
メトホルミンによる乳酸アシドーシスの 3 症例 古澤高廣、白阪哲朗
- PCI 中の blow out 型左室自由壁破裂に対し VA-ECMO と IABP 補助下に外科的縫合閉鎖術を行った 1 症例 古澤高廣、白阪哲朗
- Incidence of sodium-glucose cotransporter-2 inhibitor-associated perioperative ketoacidosis in surgical patients: a prospective cohort study.
Seki H, Kuratani N, Shiga T, Iwasaki Y, Karita K, Yasuda K, Yamamoto N, Nakanishi Y, Shigematsu K, Kobayashi K, Saito J, Kondo I, Yaida N, Watanabe H, Higashi M, Shirasaka T, Doshu-Kajiura A, Edanaga M, Tanaka S, Ikumi S, Ito S, Okada M, Yorozu T; SAPKA Investigators. J Anesth. 2024 Aug;38(4):464-474.
- Removal characteristics of presepsin by operating conditions and hemofilter.
Yamasaki T, Miyamoto Y, Goto T, Oda Y, Yano T, Taniguchi M, Shirasaka T. J Artif Organs. 2024 Sep;27(3):321-323.

臨床検査科

学会発表

- 鏡検中 ～異常細胞を見逃すな！～

小山 愛梨

第 28 回延岡病院学会

2024. 9. 5

- JMAT 活動報告

那須 一生

第 60 回宮崎県医学検査学会

2024. 5. 26

研修会

- マントル細胞リンパ腫の一症例

小山 愛梨

第 92 回宮崎県血液疾患検討会（症例提示・解説）

2024. 7. 26 web 開催

- 膵 EUS-FNA の一例

甲斐 友佳子

第 1 回症例検討会

2024. 6. 22

- 安全な輸血のために注意が必要なこと

那須 一生

看護基礎コース I

2024. 7. 19 県立延岡病院

その他

- 形態診断のためのケースカンファレンス（コメンテーター）

野中 真由美

第 25 回日本検査血液学会学術集会（広島市）

2024. 7. 20-21

栄 養 管 理 科

学会発表

- NST 介入により落葉状天疱瘡の改善が見られた症例
矢野 優花
第 40 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2025. 2. 14 横浜市

その他（外部講師）

- がん化学療法の栄養管理
脇田 真帆
第 2 回レジメンセミナー2024 2024. 11. 7 延岡市

- （医療分野から）栄養情報連携について
河野 裕子
宮崎県栄養士会延岡事業部研修会 2024. 11. 16 延岡市

臨床工学科

学会発表

- 劇症型心筋炎に ECPELLA を施行し、転院に至った一例
古川 雄一朗
第 49 回日本体外循環技術医学会九州地方会大会(宮崎) 2024. 6. 15
- プロタミンアレルギー既往患者の再手術におけるナチュラルリバース例
中西 清隆
第 49 回日本体外循環技術医学会大会(旭川) 2024. 10. 20
- 開心術における術後譫妄の影響因子に関する検討
中西 清隆
第 62 回全国自治体病院学会(新潟) 2024. 10. 30
- 今後期待される ABL の展望
中西 清隆
宮崎 EP コメディカルスキル Up セミナー (宮崎) 2024. 11. 30
- CIEDs 一括モニタリングシステムの運用評価と従来法の比較
植田 風真
第 19 回九州・沖縄臨床工学会 (鹿児島) 2025. 1. 18
- 完全右脚ブロック合併心不全に対する CRT デバイスの有用性を示した 1 症例
植田 風真
第 17 回埋め込みデバイス関連冬季大会 (福岡) 2025. 2. 21

シンポジウム座長

- 中西 清隆
第 49 回日本体外循環技術医学会九州地方会大会(宮崎) 2024. 6. 15

一般演題座長

- 植田 風真
第 19 回九州・沖縄臨床工学会 (鹿児島) 2025. 1. 18

救命救急科

学会発表

- 軽微な頭部・顔面外傷に合併した内頸動脈海綿静脈洞瘻の一例
三宅良博、久保佳祐、安部智大、名越秀樹、落合秀信
第38回日本外傷学会総会・学術集会 2024.4 大阪市
- 腎膿瘍に対しセフェピム(CFPM)で加療中に急性腎障害を併発しセフェピム脳症となった症例
戸村祐理子、畠中健吾、金丸勝弘、落合秀信
日本臨床・分析中毒学会 2024.5 川崎市
- 美郷町における病院前救急診療
北條健人、宮里果那、中島馨斗、蔵満恭助、黒木琢也、長野健彦、金丸勝弘、落合秀信
第19回 日本病院前救急診療医学会 2024.12 宮崎市
- For MIYAZAKI 救急科専門研修プログラムにおける地域で最強の病院前診療医の育成について
島津志帆子、佐々木朗、田中達也、長野健彦、長嶺育弘、名越秀樹、金丸勝弘、雨田立憲、落合秀信
第19回日本病院前救急診療医学会 2024.12 宮崎市
- A病院におけるドクターカー活動で医師が求める看護実践
吉田裕介、金丸勝弘、荒木美保
第19回日本病院前救急診療医学会 2024.12 宮崎市
- ジスチグミンおよびベタネコールによりコリン作動性クリーゼを来した一例
末永優斗、田崎和志、岩本和樹、山内佑太、畠中健吾、金丸勝弘、落合秀信 第61回宮崎救急医学会 2025.3 宮崎市
- 宮崎における JPTEC の変遷と今後の課題
金丸勝弘、長嶺育弘、濱畑貴晃、河野剛三、坂友祐太 第61回宮崎救急医学会 2025.3 宮崎市
- 世論の治療がドクターヘリの導入に有効であった1自県例 金丸勝弘 第61回宮崎救急医学会 2025.3 宮崎市

学術雑誌掲載論文

- Hydrocortisone treatment is associated with early recovery from severe septic shock in patients with obstructive pyelonephritis due to upper urinary tract stone
Isamu Otsuka, Koshiro Nishimoto, Taichi Kozako, Katsuhiro Kanemaru, Yasuhiro Yamashita, Toshiyuki Kamoto, Atsuro Sawada BJUI Compass Volume 6, Issue 2

単行本

- 今日の治療指針 2024 年版 私はこう治療している 【中毒性疾患】循環器用薬中毒

講演会

- 西臼杵医療センター研修会
「縦の糸と横の糸で織りなす西臼杵医療」
金丸勝弘、松田俊太郎、森久保裕 2024. 4
- Sepsis Conference in Miyazaki
「免疫不全患者の敗血症に対する経験的抗真菌薬」
三宅 良博 2024. 5
- 延岡・西臼杵災害医療シンポジウム
「災害時における県北地区の課題と拠点病院の役割」
金丸勝弘 2024. 6
- 座長：てんかんカンファレンス in MIYAZAKI
一般演題「てんかん重積患者の診療の実際や課題」
金丸勝弘 2024. 6
- Experience Sharing Symposium in Miyazaki
「当院のアンデキサネットアルファの使用経験」
三宅良博 2024. 7
- 令和 6 年度日南市小・中学校養護教諭研究会（夏季研修会）
「災害時などの緊急時における救急処置について」
金丸勝弘 2024. 7

- 令和6年度延岡市学校保健会養護教諭部会
「学校における救急処置について」
金丸勝弘 2024.8
- 令和6年度宮崎市小学校・中学校養護教諭部会研修会
「養護教諭のお悩み相談室」
金丸勝弘 2024.8
- 令和6年度串間市養護教諭・保健主事連絡部会研究会
「緊急時の対応力向上」
金丸勝弘 2024.8
- 令和6年度宮崎県消防長会 救急実務研修会
「中毒患者に対する病院前活動」
畠中健吾 2024.8
- 宮崎県立延岡高等学校メディカルサイエンス科講演会
「ドクターヘリに夢をのせて」
金丸勝弘 2024.9
- 延岡市社会福祉協議会 第24回延岡市地域福祉推進大会
「県北地域医療の今昔物語」
金丸勝弘 2024.9
- 延岡市立西小学校 ふるさと教育推進事業 第5・6学年[こどもたちに伝えたいこと]
「ドクターヘリに夢を乗せて」
金丸勝弘 2024.9
- 日本赤十字社 第12回宮崎県輸血懇話会
「宮崎県北エリア『災害時輸血プランの共有』について」
金丸勝弘 2024.9
- 延岡日向門川防災研修会
「災害時における県北地区の課題と拠点病院の役割」
金丸勝弘 2024.10

- 令和6年度救急看護リソース公開講座
「RRTの活用状況 & RRT要請のポイントと普及に向けて」
金丸勝弘 2024.10
- 地域医療を支える人材育成講演会2024 未来の地域医療を支える君たちへ
「宮崎の大地に医療の絵を描く人たち」
金丸勝弘 2024.11
- 宮崎市郡在宅医会学術講演会
「わたしたちはどう生き延びるか」
金丸勝弘 2025.1
- (株)アステム延岡日向支店 新社屋お披露目会
「宮崎県北の災害対応の現在地」
金丸勝弘 2025.2
- 全国養護教諭連絡協議会宮崎県研究会 第3回研修会
「開講！ 養護教諭のための保健室」
金丸勝弘 2025.2
- 令和6年度第21回地域医療ネットワーク連絡協議会 第9回在宅医療実施施設と救急医療
機関の連絡協議会 合同連絡協議会
「ズバリ これが県北の災害対応の全体像」
金丸勝弘 2025.3
- 第52回宮崎県北地区腎不全研究会
「県北透析医療における「タテ」の連携「ヨコ」の連携 ～災害編～」
金丸勝弘 2025.3

講 義

- 令和6年度宮崎県防災士養成研修（専門コース）
災害医療とこころのケア（第12講）
畠中健吾 2024.8

- 令和6年度宮崎県防災士養成研修（専門コース）
災害医療とこころのケア（第12講）
畠中健吾 2024.11
- 令和6年度宮崎県消防学校 第30期救急科研修ショック
金丸勝弘 2024.12

講習会

- 第51回宮崎外傷セミナー（JPTEC インストラクターコース）
金丸勝弘 2024.11
- 第44回宮崎大学外傷セミナー（JPTEC インストラクターコース）
金丸勝弘 2024.12
- 第45回宮崎大学外傷セミナー（JPTEC 更新コース）
金丸勝弘 2024.12
- 第52回宮崎外傷セミナー（JPTEC ファーストレスポnderコース 日南市養護教諭）
金丸勝弘 2024.12
- 第53回宮崎外傷セミナー（JPTEC ファーストレスポnderコース 延岡市養護教諭）
金丸勝弘 2025.1
- 第54回宮崎外傷セミナー（JPTEC ファーストレスポnderコース 延岡市養護教諭）
金丸勝弘 2025.1
- 第55回宮崎外傷セミナー（JPTEC ファーストレスポnderコース 串間市養護教諭）
金丸勝弘 2025.2
- 第46回宮崎外傷セミナー（JPTEC ファーストレスポnderコース 宮崎県警機動隊）
金丸勝弘 2025.2
- 第47回宮崎外傷セミナー（JPTEC プロバイダーコース 宮崎県消防学校生涯研修）
金丸勝弘 2025.2

- 令和6年度宮崎県へき地医療支援機構 医療処置勉強会
気管挿管、胸腔ドレーン留置
金丸勝弘、松田俊太郎 2025.3
- 諸塚村における妊婦の救急搬送に係る合同訓練
県北の救急医療の実態
金丸勝弘 2025.3

総 合 診 療 科

学会発表

- 柏田芙実佳、松田俊太郎、梶田一旭、金丸勝弘
利尿薬開始後に発症した気腫性膀胱炎の 1 例
第 29 回日本病院総合診療医学会 2024. 9 東京都
- 日高哲平、梶田一旭、松田俊太郎
肢体不自由の胆管ステント留置患者において *Schwanella algae* による
敗血症を発症した 1 例
第 29 回日本病院総合診療医学会 2024. 9 東京都
- 松田俊太郎、梶田一旭、金丸勝弘、井上涼二
公表されている将来推計人口・患者調査・病床機能報告から検討した医師少数区域の今
後の地域医療の方向性について
第 62 回 全国自治体病院学会 2024. 10 新潟市
- 松田俊太郎、伊東芳郎、井上涼二
将来推計人口・患者調査・病床機能報告から検討した医師少数区域の地域医療について
第 3 回 日本地域医療学会 2024. 11 富山市
- 松田俊太郎
宮崎県のへき地医療における医療の DX 化の現状 シンポジウム
第 41 回九州地域医学研究会 2025. 2 鹿児島市
- 松田俊太郎
ドクターヘリで何が変わったか？ ―へき地医療の立場から― シンポジウム
第 61 回 宮崎救急医学会 2025. 3 宮崎市

学術論文

- Shuntaro Matsuda, Miyu Nakamura, Shihoko Shimadzu, Ikki Nokita, Manabu Hayakawa,
Katsuhiko Kanemaru. Jejuno-jejuno-intussusception in an adult with COVID-19 infection. JHGM
6-5, 142-143, 2025.

その他

- 松田俊太郎 医療機関のかかり方 講演 県民健康講座 2024.4 延岡市
- 松田俊太郎 縦の糸と横の糸と織りなす西臼杵医療 講演 第1回地域医療推進講演会 高千穂町
- 松田俊太郎 これからの日向東臼杵の地域医療について 講演 令和6年度日向市東臼杵医師会6月定時総会 2024.6 日向市
- 松田俊太郎 地域医療の現状と課題 ～安心して在宅療養できる延岡を目指して

講演

- 延岡保健所管内在宅緩和ケア研修会 2024.10 延岡市
- 松田俊太郎 薬剤師に役立つ身体診察 講演
- 宮崎県薬剤師会フィジカルアセスメント研修 2024.11 延岡市
- 松田俊太郎 呼吸生理基礎 講演 2025.2 第20回宮崎人工呼吸セミナー宮崎市

薬 剤 部

学会発表

- のべおかレジメンセミナーの取り組みについて
神 菌 奈津子
第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術集会 2025（横浜市） 2025. 3. 16

その他

- 当院における連携充実加算算定の取り組みについて
酒 井 康介
第 1 回のべおかレジメンセミナー2024（Web 開催） 2024. 6. 6
- 具体的なレジメンと副作用について－婦人科がん
神 菌 奈津子
第 1 回のべおかレジメンセミナー2024（Web 開催） 2024. 6. 6
- 当院におけるアナモレリン塩酸塩錠の使用状況調査
鴨 林 宏樹
第 27 回宮崎 N S T 研究会 （宮崎市） 2024. 6. 8
- のべおかレジメンセミナーの取り組みについて
神 菌 奈津子
第 28 回県立延岡病院学会 2024. 9. 4
- 副作用の評価方法について
日 高 里奈
第 2 回のべおかレジメンセミナー2024（Web 開催） 2024. 11. 7
- 注射薬監査システムの使用による監査時間及びインシデント防止への影響
今 村 康利
第 29 回県立延岡病院学会 2025. 3. 6

看護部

学会発表

卒後2年目（基礎Ⅱ）事例研究発表 2024. 11. 28-29 県立延岡病院

- 子宮内胎児死亡を告げられた母親への関わり
4 西 甲斐 穂乃香
- 看取りの際の家族との関わり～転院を翌日に控えていた患者の事例を通して～
4 西 瀬戸山 未侑
- 下顎骨骨折で手術を受ける10代の患者への術前訪問を振り返って
～不安を経験する関わりについて～
手術センター 奥野 拓海
- 身体的精神的苦痛の強いATLL患者との関わりを振り返って
5 東病棟 上野 千夏
- 急性期病院における肺癌終末期看護～本人らしい生活をおくるために～
7 東病棟 鬼塚 小雪
- 陰圧個室隔離が必要な患者との関わりを振り返って
～認知機能低下や高次脳機能障害がみられる患者の事例を通して～
7 東病棟 永田 千亜稀
- 疼痛を訴えるがん患者に対する看護を振り返って
6 東 岸上 奈央
- 怒りや否認が強い終末期にある患者との関わりを振り返って
6 東病棟 菅原 望
- ステロイド、軟膏塗布に協力が得られない外国人母との関わりを振り返って
4 東病棟 清水 ひなた
- 1型糖尿病と診断された患児との関わりを振り返って
4 東病棟 鈴木希音
- 医療的ケアが必要な重度心身障害児（者）の母親との関わりを振り返って
HCU 病棟 小牧 萌愛

- 家族の付き添いのない拒薬のある患児との関わりを振り返って
HCU 病棟 川野 裕佳
- 不安の強い経産婦との関わりを振り返って
NICU 病棟 公文 涼香
- ダウン症候群の疑いと告知された『母親の心理』と『看護師の関わり』
NICU 病棟 山下 りりか
- 急性期脊髄損傷患者における他職種連携の有用性
～障害受容の過程で不眠・悲劇的な発言がある患者の事例を振り返って～
3 東病棟 岩切 陽菜
- 疼痛増強から混乱状態にある患者のニーズを捉え看護介入
3 東病棟 田崎 星良
- くも膜下出血術後の疼痛緩和に関する考察
3 東病棟 今村 愛子
- せん妄症状のある患者との関わりを振り返って
5 西病棟 上石 優季

令和 6 年度宮崎県看護研究学会 2025. 3. 8 宮崎市

- 新型コロナウイルス感染症に伴う面会制限における、患者家族のニーズ
～患者家族に対するアンケート調査から～
黒木 梨央
- 入院中に緩和ケアに専念することを勧められた患者・家族との関わり
～希望に添った支援を行うためのコミュニケーションの取り方～
稲葉 愛恵
- 急性期病棟における終末期へ移行する患者の退院支援について
～看護師の抱える困難感を明らかにする～
荒木 杏南
- 誤嚥性肺炎合併予防の看護ケアにおける看護師の意識調査
～食事、口腔ケア、積極的離床、体位変換に着目する～
川越 日夏子

- NICU での母乳育児支援の現状と課題
小山 姫風
- 産科病棟・周産期センタースタッフそれぞれが持つ母児分離の母親への思い
～育児指導に関するアンケートから～
久保 奈津望
- A 病院整形外科病棟における認知症患者の術後疼痛アセスメントの実態
～アビー痛みスケールに沿った質問紙調査を通して～
吉田 真悠
- 婦人科初回化学療法時の長期入院患者が抱える思いについて
田中 葵子
- 化学療法を受けている患者の便秘症状に対する非薬物的介入の実態について
樋口 由希子

日本脳神経看護学会 学術集会 2024. 9. 23 福岡市

- 消化態栄養（ペプタメンスタンダード[®]）を使用した経腸栄養パスの有効性
中内 健太

第 19 回日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 2024. 12. 15 宮崎市

- A 病院におけるドクターカー活動で医師が求める看護実践
吉田 祐介

第 38 回看護師自治会研究発表 2025. 1. 16 県立延岡病院

- 救命救急センターにおけるグリーフケアの検討
～死亡退院後に遺族が死亡時の患者の様子を知りたいと希望した事例～
見山 あかね 松元 絵里加 黒田 友子 磯村 陽子
- 総合病院への紹介を余儀なくされたハイリスク妊婦が抱える思いと助産師による支援検討
甲斐 真紀 奈須 恵 今本 実桜
- 乳児睡眠中の窒息事故に関する保護者の認識と対策の現状
4 東病棟 武田 美千代 長田 三枝 黒田 幸子 小栗 香織

- A 病院手術センターにおけるポピドンヨードによる接触性皮膚炎に対する意識調査
手術センター 田辺 綾乃 佐藤 真斗 深田 竜馬
- 熟練看護師が離床センサーの設置、モード変更および解除を判断する際の視点
心臓血管センター 菊地 貴大 白須 里美
- 化学療法を受ける造血器腫瘍患者が治療過程で看護師に期待する支援
5 東病棟 藤島 全基 椿原 美穂 伊東 美佳 後藤 章紘

県立延岡病院学会

学会発表

第 28 回 宮崎県立延岡病院学会 2024. 9. 4-5

- 当院集中治療センターにおける早期離床リハビリテーション加算導入と継続に向けた課題
集中治療センター 本田 美紀
- 当院職員における流行性ウイルス疾患抗体保有状況
感染管理科 中武 和利
- のべおかレジメンセミナーの取り組みについて
薬剤部 神薊 奈津子
- 術中麻酔管理領域における看護師による特定行為
手術看護認定看護師 甲斐 亘
- 当院における ICD 適応症例に対する埋め込みの現状に対する検討
研修医 井上 聡士
- 当院における静脈血栓塞栓症（VTE）患者の特徴と治療について
研修医 阿萬 樹生
- NICU・GCU 退院直後の育児不安
～電話訪問による退院支援と継続看護の検討～
周産期センター 下川 祥子
- 集中治療センター看護師の経口挿管による人工呼吸器管理患者への 30 度以上の頭部挙上
に対する意識と行動変化
集中治療センター 甲斐 友
- 鏡検中～異常を見逃すな！～
臨床検査科 小山 愛梨
- Hybrid 手術室の運用について
放射線科 藏屋 穂乃花
- IV 度熱中症患者の救命への鍵
研修医 安藤 菜々子

- 当院の医療に貢献できる研修医像を目指して
～他職種からの評価と研修医の自己評価の比較～
研修医 斎藤 裕之

第 29 回 宮崎県立延岡病院学会 2025. 3. 5-6

- A 病院整形外科病棟における平日日勤以外の時間（以下時間外）の医師指示についての実態を明らかにする
6 西病棟 黒木 美咲
- 透析室の消毒液誤混合対策
臨床工学科 島田 洋輔
- ACP 普及のための今後の課題
6 東病棟 小松 真優
- 当院で治療を行った肝膿瘍 76 例の臨床的検討
岩下 和生 西園 隆三 土井 浩一
- 当院における認知症デイケアの患者概要と実施状況からみる有用性の検討
梶原 奈緒子 藻原 せつ 西川 重幸
- 当院で経験した遺伝子検査により遺伝性血管性浮腫の診断に至った 1 例
中村 美優 下西 広大 後田 優香
- 小児虐待症例への介入検討
柏田 芙実佳 渡邊 明日奈 田崎 和樹 岩本 和樹 山内 祐太 金丸 勝弘
- CT 検査における採用造影剤の変更～コスト削減について～
小野 茉奈
- A 病棟におけるアザシチジン皮下注射投与の現状を明らかにする
清 さやか 後藤 菊代 米沢 美和 黒木 瞳
- 当院から在宅医療への移行に関する検討
谷口 愛友子 松田 俊太郎 梶田 一旭
- 早期警戒スコアリングシステム（EWSS）導入にむけての取り組み
馬目 達典 稲葉 正子 平部 久貴 本村 理恵 磯村 陽子 荒木 美保

- 注射薬監査システムの使用による監査時間及びインシデント防止への影響
今村 康利 満山 稚乃 酒井 康介 神園 奈津子 佐藤 千秋
日高 里奈 徳山 和秀 猪俣 博樹 河野 和子

- 総合病院への紹介を余儀なくされたハイリスク妊婦が抱える思いと助産師による支援検討
甲斐 真紀 奈須 恵 今本 実桜

- 乳児睡眠中の窒息事故に関する保護者の認識と対策の現状
4 東病棟 武田 美千代 長田 三枝 黒田 幸子 小栗 香織

- A 病院手術センターにおけるポピドンヨードによる接触性皮膚炎に対する意識調査
手術センター 田辺 綾乃 佐藤 真斗 深田 竜馬

- 熟練看護師が離床センサーの設置、モード変更および解除を判断する際の視点
心臓血管センター 菊地 貴大 白須 里美

- 化学療法を受ける造血器腫瘍患者が治療過程で看護師に期待する支援
5 東病棟 藤島 全基 椿原 美穂 伊東 美佳 後藤 章紘

県民健康講座

- 2024. 4. 17 医療機関へのかかり方
総合診療科 松田 俊太郎
- 2024. 6. 19 骨粗鬆症の最近の話題
整形外科 栗原 典近
- 2024. 8. 21 知っておきたい薬の知識
薬剤部 徳山 和秀
- 2024. 10. 16 県北から突然死する乳幼児をなくす為に今、私たちができること
小児科 中村 賢二
- 2024. 12. 18 ここまで進んだ心不全治療
循環器内科 山本 展誉
- 2025. 2. 19 尿路感染症について
泌尿器科 山下 康洋

チーム医療セミナー

- 2024. 6. 12 2024 年度診療報酬改定と医療制度の動向
株式会社 ニチイ学館
- 2024. 7. 17 認知症看護リソース活動と認知症デイケアの報告
特定行為看護師 梶原 奈緒子
- 2024. 9. 18 病院機能評価に向けて
医事・経営企画課 川畑 昌平

令和 6 年度 宮崎県立延岡病院年報

令和 7 年 7 月発刊

宮崎県立延岡病院

〒882-0835

宮崎県延岡市新小路2-1-10

TEL 0982-32-6181 FAX 0982-32-6759

URL <https://nobeoka-kenbyo.jp>
